



見つけた。七番目の光。

「4.24」を知っていますか？

1948年「4.24阪神教育闘争」から70年。

変わることのない差別。

70年間の「軌跡」をたまたかひ続けてきた。

「ウリハツキヨ」という「奇跡」が、

いま「輝石」となって、未来へ架かる虹となる。

4.24教育闘争70周年記念
ドキュメンタリー映画

ニジノキセキ

—「4.24」の未来へ、七色の架け橋—

プロデューサー：趙寿來 監督：朴英二 金功哲

エグゼクティブ・ディレクター：趙源模 出演：金紗梨 張鐵柱 他

音楽：千守日 スクリプト：楊琴女 日本語翻訳：金輝榮 金明花 李昂樹 金人濟

主題歌：「青い空 青い海 青い輝き」 挿入曲：「from tears」金煥仙 デザイン：ホ サンホ タイトルコピー：李英哲

STAFF：李京泰 千守日 楊琴女 朴晶久 鄭王雄 安燦洙 李帝熙 金功哲 韓順啓

崔秀英 朴東赫 呉淑明 李京熙 朴勇然 金麗華 金相賢 金大翔

ウリハッキョー— 未来へ、世界へ架け渡す、七色の「キセキ」。

「4.24」とは何だったのか？「4.24」の精神とは何なのか？— その答えを見つけるために、兵庫県青商會が企画・制作したドキュメンタリー映画「ニジノキセキ」。70年の時を超え、「ウリハッキョ」のおかれた現状を伝えるとともに、何より、七色に輝く「ウリハッキョ」の「いま」を、未来へ、世界へ向けて届けます。

3つの「キセキ」—

過去から未来へ、「4.24」を受け継ぐ虹の架け橋。

[軌跡] 歩んできた道のり。車輪が通った跡にできる轍（わだち）。先人の行いの跡。

世代を超えて受け継ぎ発展させ続けた、民族教育の歴史。70年の道のり。

[奇跡] 常識で考えては起こりえない出来事。驚くべき不思議な現象。ミラクル。

異国の風雨に打ち勝ち、成果と経験を生み続ける民族教育という奇跡。誇り。

[輝石] 鉱物の一種。様々な色、ガラス光沢を放つ、美しい鉱石。

キラキラと輝くウリハッキョの生徒たち。ダイヤモンドの原石のような、未来たち。

■「ウリハッキョ（朝鮮学校）」、「4.24阪神教育闘争」とは？

1945年8月、日本の敗戦とともに植民地支配からの解放を迎えた在日朝鮮人たちが、奪われた言葉と歴史、文化を子どもたちに教えるため、各地で開校した「国語（朝鮮語）講習所」をルーツとし、現在では幼稚園から大学までの教育体系を備え、日本全国に65校設置されている朝鮮学校。親しみを込めて「ウリハッキョ（私たちの学校）」と呼ばれる一方で、常に日本社会の差別と弾圧、そしてたたかいの歴史を歩んできた。1948年、GHQと日本政府は朝鮮人学校閉鎖令とともに警官隊による閉鎖を全国で強行。特に2名の死者まで出した阪神地域での激しい学校閉鎖反対・権利擁護闘争において、神戸市では閉鎖令を撤回する勝利を収める。その日が4月24日であったことから、在日朝鮮人はこの「4.24（サイサ）阪神教育闘争」を、民族教育を守る歴史と精神の象徴として継承し続けている。

七番目の光— あなたの「キセキ」が、虹の橋を架ける。

